

会 議 録

会 議 の 名 称	令和6年度第2回上尾市社会教育委員会議	
開 催 日 時	令和7年2月19日(水)午後2時から3時45分まで	
開 催 場 所	上尾公民館 講座室401	
議 長 氏 名	首藤 敏元	
出席者(委員)氏名	近藤 博昭、中島 晴美、洞派 英樹、曾我部 延孝、須賀 聡 清水 和子、清水 松代、酒井 剛志、鈴木 茂、桑原 明子、 首藤 敏元、若原 幸範(12人)	
欠席者(委員)氏名	山下 文孝(1人)	
事務局(庶務担当)	加藤教育総務部長、池田教育総務部次長、山内図書館長、 小宮山副主幹、椎名副主幹、目黒主任、永井主事	
会 議 事 項	1 議 題	2 会 議 結 果
	議事 (1) 令和6年度社会教育関係事業の実施状況について (2) 令和7年度社会教育関係事業(予定)について (3) 令和7年度社会教育関係団体補助金交付予定について (4) 第6次生涯学習振興基本計画の計画策定について 報告 (1) ICTを活用した学習相談や学習支援サービスについて	1 議長 首藤 敏元 副議長 近藤 博昭 2 議事 内容説明及び質疑応答
議 事 の 経 過	別紙のとおり	傍聴者数 なし
会 議 資 料	別紙のとおり	
議事のでん末・概要に相違なきことを証するため、ここに署名する。 令和 7 年 7 月 8 日 議長の署名 <u>首藤 敏元</u>		

議 事 の 経 過

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
生涯学習課副主幹	1 開会 本日は御多用のところ、また、寒風刺さる中、会議に御出席いただきまして誠にありがとうございます。 本日、司会進行を務めさせていただきます生涯学習課副主幹の小宮山でございます。どうぞよろしくお願いいたします。 ただいまから、令和6年度第2回上尾市社会教育委員会議を開会させていただきます。 皆様に配布させていただいております「会議資料」の次第に従いまして進めさせていただきます。 なお、本日は、委員の山下様が欠席となっております。また、生涯学習課長も欠席となっております。
生涯学習課副主幹 首藤議長	2 議長あいさつ はじめに、首藤議長様よりご挨拶をお願いします。 ＜議長挨拶＞
生涯学習課副主幹	ありがとうございました。
生涯学習課副主幹	3 教育総務部長あいさつ 続きまして市教育委員会を代表いたしまして、西倉教育長からご挨拶を申し上げます。
西倉教育長	＜教育長挨拶＞
生涯学習課副主幹	ありがとうございました。なお、西倉教育長につきましては、公務の都合により、ここで退席させていただきます。 ＜教育長退席＞
首藤議長	それでは議事に入ります。議事の進行につきましては、会議運営規則第3条第3項の規定によりまして、首藤議長にお願いしたいと思います。よろしくをお願いします。 「上尾市社会教育委員会議運営規則」第3条の規定から委員の半数以上の出席が必要となります。委員総数13名のうち12名の方が出席していますので、この会議が成立することをご報告いたします。 本日、傍聴の方はいますか。
生涯学習課副主幹 首藤議長	傍聴人はございません。 それでは議事に沿って進めさせていただきます。

	4 議事 (1) 令和6年度社会教育関係事業の実施状況について 令和6年度社会教育関係事業の実施状況について説明をお願いします。
首藤議長	
生涯学習課副主幹	＜令和6年度社会教育関係事業（生涯学習課分）について説明＞
図書館長	＜令和6年度社会教育関係事業（図書館分）について説明＞
首藤議長	ただいま、事務局の説明が終わりました。委員の皆様、ご意見やご質問等 はございますか。
若原委員	まずは大きいところで、いろいろな事業をやられていたということはわかるのですが、生涯学習振興基本計画の目標における基本理念「つくる 支える つなぐ S o c i e t y 5.0 の生涯学習」ですとか、基本目標を立てられていると思いますので、目標に対する達成度はどの程度になっているのか、また、S o c i e t y 5.0 の部分は課題が大きいのだと思いますが、今、どの程度の進捗状況なのかという質問が1点めです。 それから、細かいところになりますが、4 ページ「福祉に関する教育・啓発」の事業が原市の1事業だけだと課題が残るのかなという気がするのですが、実際は他の項目に挙げられている、例えば福祉総務課が挙げられているものなどが入ると思うのですが、そういうのがわかるような整理の仕方をした方が全体が見えていいかと思います。これは意見となります。 それから5ページの「人権教育の推進」の人権教育集会所主催事業を見ると、一見して人権教育とは結び付かないような内容になっている気がするので、この点、実際どうなのかという確認をさせてください。 それから、16ページの「家庭教育講座」で「これまで市P T A連合会と共催で行ってきたが、今後は生涯学習課単独の実施について検討していく」とありますがその理由を教えてください。
生涯学習課副主幹	まず「S o c i e t y 5.0」については、なかなか進められていないというところがあります。高度情報化社会に対する講座というところでは、ChatGPT等の講座になると思いますが、公民館に情報提供がしきれていないことが理由の一つだと思います。今後は他市町や県の ChatGPT 等の講座の講師の情報を公民館に提供したり、生涯学習課としても I C Tを活用した講座を実施する上で、市民の方にZ O O Mの使い方などを含めた講座について検討していきたいと思います。現在、オンラインを使った講座については市のパソコンをフリーWi-Fiにつなげることができないので、講師の方に機材を持参していただくことになるため、このことについても考えていかなければならない状況です。 続いて4ページの「福祉に関する教育・啓発」の講座については、講座のタイトルから公民館講座の内容を確認したところ、障害者というキーワードで1講座が抽出されました。実際は例えば「フレイル」に関する講座を実施していることもありますので、今後は公民館講座の内容を精査して実施状況報告に収めるように努めて参ります。 続きまして「人権教育の推進」の人権教育集会所主催事業についてですが、

	人権教育に関する内容だけではないというのは事実です。こちらは各種講座を行っていただき、講座に参加した人に人権教育に関するチラシを配布したり、あとは講座をサークル化した後に、そのサークルを対象に「人権問題指導者研修会」を行っています。この研修会については、各サークルのメンバーに参加してもらい、3回のテーマについて興味があるところに参加してもらう形となっています。 16 ページの「家庭教育講座」の注釈についてですが、これまで、コロナ禍以前は、家庭教育講座は2月におこなっていました。市P連も会長が変わったり、中身のほうがだいぶ変わってきまして、今年度については市P連と対談のような動画を作っていただき、市P連のYouTube に挙げていただきました。今まで一緒にやってきましたが、今後は市P連さん独自と、生涯学習課独自、それぞれ行っていかなくتهはいけないと思っておりますので、これについてはいろいろなご意見があると思いますが、進めていきたいなと思っております。 以上、4点についての説明となります。
須賀委員	17 ページの「二十歳の集い」について、まず日にちが「12 日」ですよね。
生涯学習課副主幹 須賀委員	ご指摘の通りです。2 日を 12 日に訂正お願いします。 「二十歳の集い」の内容ですが、我々は最近伺っていないのでわからないのですが、40～50 分くらい、各中学校の代表者が進行して、恩師登場で終わりということで変わらないのでしょうか。1 点目です。 2 点目ですが、「ICT 環境を活用した国際交流」、なぜ「令和 5 年度第 2 回上尾市社会教育委員会議において、現在の上尾市生涯学習課では ICT 環境を活用した国際交流の推進は困難との結論となる」というふうになってしまったのか、覚えていないのでお聞かせください。
生涯学習課副主幹	まず「二十歳の集い」の内容については、仰る通り、以前と変わらない内容となっています。各中学校から代表者 2 名を選出してもらい、また 4 月に公募を行い、運営委員となってもらいます。式典前のアトラクションとして恩師からのビデオレター、運営委員は当日の進行、誓いの言葉、市民憲章の朗読、最後に花束贈呈を行ってもらうような内容となっています。 次に「ICT 環境を活用した国際交流」につきましては、昨年度、ボーイスカウトさんの事例を紹介するとともに指導課の方で行っている国際交流の事例を紹介させていただきました。それぞれかなり大規模（人的、エリア的）のため、生涯学習課単独で行うということは難しい状況であるということをお説明させていただきました。
清水(マ)委員	16 ページの「子ども大学」についてお聞かせください。例えば図書館では小学生の時に読書パスポートというものを配布します。それは、その子がある程度大きくなった時に、どのような図書に興味を持っているか追跡調査のような試みもあるわけです。子ども大学に参加した子どもたちの後の姿が知りたいと思うのですが、それはどうしたら知ることができるのでしょうか。そういうお考えはありますでしょうか。
生涯学習課副	子ども大学は個人情報的にも単年度で終わる事業となっていますので、そ

主幹	の情報を翌年度以降も使うという案内をしていないというところから、なかなか追跡は難しいかと思います。また、対象が5・6年生で、6年生が中学生に上がってしまうこともあり、やはり追跡が難しいかなと思っております。ただ、子ども大学事業も始めて10年ぐらいたちますので、個人的には興味のあるところではあります。ただ、なかなか実施は難しい状況となっております。
清水(マ)委員	私は「子ども大学あげお・いな・おけがわ」に参加したことがあるのですが、そのときに聖学院大学でクリスマスについての講座を拝見しました。それで、今でも「こういう意味があるのね」って、ふと思い出すことがあります。子どもたちも、そのように心の中に残ってくれるとすごくいいなと。成長の助けというか、そういう子どもたちのこの心の足しになってくれると、すごく嬉しいなと思います。 それに関連してもう一点よろしいでしょうか。「あげお子ども大学」のテーマ「縄文時代のリアルを紐解こう」に非常に興味があるのですが、大人向けの講座はないのでしょうか。
生涯学習課副主幹	子ども大学に応募していただく際に、応募動機を聞いています。こちらにつきまして、講師の方にも提供しながら、プログラムの中に子どもたちの興味があるところを取り入れていただければと思います。 あげお子ども大学で行った縄文時代の講座につきましては、来年度、上平公民館の方で企画しています。もしご希望がありましたら、社会教育委員さんに現場を知っていただくということで、見学にきていただいてもいいのではと思います。 子ども大学の応募動機のところで、「学校で縄文時代を学んだばかりなので、より詳しく知りたい」という意見もありましたので、そういったところも講師の方々に伝えて、より、子どもたちの興味を充足していくような内容になるよう、進めてまいりたいと思います。
首藤議長	私からの意見ですが、まず「Society5.0」をタイトルに挙げながら、なかなか実績が出なかったというのはとても残念ですし、私が議長をしてる間に力になれなかったなと思うのですが。「Society5.0」というのはICTだけじゃないので、多分私達、私自身そうですが、まだまだSociety4.0の情報化社会から抜け切れてないのだと思います。だから、ICTももちろん大事ですし、AIも中心的な概念ですが、それよりもいわゆる、DE&I、多様性、公平性、インクルージョン。いろいろな人たちと交流して、新しいことを学んでいく。ということがやはり5.0のきっかけで、その手段としてICTだったり、AIがあったりするんだと思いますので。そう考えると、上尾市は結構、国際交流していると思います。食事や踊りとか、民族衣装等を購入する機会、イベントが上尾市であったと思います。そういうふうに考えますと、多くのものが「Society5.0」に引っかかってくると思います。 また、ICTを中心に考えると、図書館のいわゆる検索ですね。チャットボットも多分入ると思うのですが。チャットボットは基礎的なAIの力を借りてるわけですから、そう考えると、図書館のサービスはかなりSociety5.0に近い部分があるかと思うので、そういったものをここに入れ込んでも悪くはないかなと思っていますところですよ。

	確かに機器を用意しなきゃいけないという面もあるんですけどそれには予算が必要となってきますから、なかなか実現はしづらいんですけども、今あるものから工夫して広げていくってこともできる部分もあるのかなと思いますのでぜひ次年度の検討課題にしていきたいなあと思っているところです。 それと、前々から私が見てですけどもこの三つの柱でそれぞれ三つの目標と柱が三つありますけれども、そこにいろんな事業をはめ込んでいくと一つの事業が二つの柱と関係してる部分ありますけどね。例えば子ども大学って子どもにとって学びのきっかけだし、子どもにとってもあと保護者にとってもあと、役所にとってもですねいろんな地元の方の関係を繋いでいくことになりますので、いろんな意味があるんですけども、ただ子ども大学は、社会教育活動だ、と私達は自覚してますけども例えば14ページに、「庁内他課との連携」とありますけども、危機管理防災課とか、あと生活支援課、障害福祉課等の人たちは、社会活動の一環かであるという自覚はあるんでしょうか。自覚もないんですね。そういうところに入れ込んでいいんだろうかっていうそういうちょっと問題意識もあるんですよ。 ですから私達でこういう案を作ったと、来年度、第6次を作らなきゃいけませんし、それで令和8年度から実施ですかね。となりますと、市全体でそういう社会教育の計画を共有した方がいいんじゃないかなと思っています。 社会活動というのは大事なんだということですね。そういう啓発もですね、まず足元からやっていくことが必要かなと思っていますところです。
首藤議長	様々な質疑、御意見がございましたが、全体に議案「(1) 令和6年度社会教育関係事業の実施状況について」につきましては、当会議としては妥当であるとの意見でまとめてもよろしいでしょうか。
各委員	異議なし
首藤議長	今回出ました意見につきましては、今後の社会教育事業の参考にしていただきたいと思います。
首藤議長	(2) 令和7年度社会教育関係事業(予定)について 次に「(2) 令和7年度社会教育関係事業(予定)について」、事務局の説明をお願いします。
生涯学習課副主幹 図書館長	＜令和7年度社会教育関係事業(予定)について(生涯学習課分)説明＞ ＜令和7年度社会教育関係事業(予定)について(図書館分)説明＞
首藤議長	ただいま、事務局からの説明が終わりました。 委員の皆様、ご意見ご質問等ございますか。
鈴木委員	図書館、新聞に載っていたけど、丸広のところに図書館の本館をリニューアルするにあたって、丸広を借りると載っていましたが、具体的に、丸広のどこでどんな形で本館の代わりが行われ、どの程度までやるのかということと、それから、リニューアルとはどのレベルのリニューアルか、図書館の基

	本機能に対するニーズ、市民の意見を聴取し、適切な対策を実現すると書いてありますが、リニューアルにあたって、市民の意見を聞いたりするという計画があるかどうか、その辺りを教えてください。
図書館長	まず入る場所は既に大筋合意という話をさせていただいておりますが、こちらは丸広百貨店上尾店の6階の一部になります。場所は開示情報がある近辺を想定しております。予定している広さとしては、おおむね 1500 m²になります。 また、どの程度今般の基準でやっていくのかというところですが、こちらは昨年8月に策定した図書館本館更新方針におきまして、機能を絞り込んでやっていくということにしております。具体的には、当然蔵書数は全部置くわけにはまいりませんので、一部の蔵書を厳選して置くとともに、今現在本館で行っている図書館システムの基幹的なサービスの集中管理と、本館で行っている資料収集を適切に分館に配布していく作業機能を持っていく予定でおります。 続きましてリニューアル、本館のリノベーションに関してですが、現在の目標としては、現在の躯体を可能な限り生かして大規模にリノベーションをしていく。具体的には長寿命化を行い、水回りの方と、あとは配管空調、時代に合わせてレイアウトの是正を図ってまいります。
鈴木委員	スケジュール的なところを教えてください。
図書館長	大まかなスケジュール、まず丸広百貨店の方の取り扱いに関しては、今現在も整備内容等の調整を行っておりますので、令和7年度には設計に入りたいと考えております。従いまして、実際に工事を終えて、丸広に入ることが可能となるのは、おそらく令和8年度の後半になって、というように見込んでおり、さらにそこから、本館の方も適正に整備を図って、令和9年度に工事に入りたいと考えており、今、それに向けて調整を行っているところです。
鈴木委員	9年度に工事が始まって、その後いつ出来上がるかも教えてください。また、できあがってから、丸広にある機能は、丸広からその後なくなってしまうのかどうか、その辺のところはどうでしょうか。
図書館長	まず、いつ現本館の改修が終わって、サービスを再開できるかというところですが、おそらく今回の工事はかなり大規模な工事になってくると想定されます。築43年を超えておりますので、そういったところをまず来年度、調査した上で、実際のサービスの開始時期というのが定まってくると思われますので、現時点で明確にここということとはちょっと難しいと考えております。 本館改修が終わった後に、丸広の方はどうなるのかというご質問ですが、こちらにつきましては、先般大筋合意ということで新聞等でも報道されております通り、本館改修後も図書館分館としての機能を残すとともに公共施設としてそのスペースを有効活用していくという方向性が示されております。
鈴木委員	9年度から工事が始まる前に、市民の意見の聴取は取りますか。私的に言えば、今の本館は、きちんとした学習室がない。ぜひ良いものを作って欲しいと思います。また、Wi-Fiとかそういうところを含めてということな

図書館長	んですけど、そういうことを聞いて、こういうふうにして欲しいというのを聞く期間があって、それを計画に入れ込むということがあるのかどうか。 それと、丸広の図書館が残るとしたら、駅前にある交番脇の図書館はどうするのか。教えてください。 まず市民の意見を聞くということについて、当然、基本設計に入る前に、市民の意見を聞くというタイミングは考えております。既に本館更新方針を策定したときに、ワークショップと市民との座談会を行って、更にアンケートも行っております。今まで得た情報をしっかり整理しながら、今できることを市民の皆様にご説明した上で、その中でできることについての議論をしていけたらと考えております。 もう一つ、できるだけ良いものをということですが、もちろん図書館としても頑張っていきたいと考えておりますが、ただしこれは財源的な問題もございいますので、そういったものを勘案しながら考えていきます。 もう一つ、東口のプラザ館に入っている駅前分館についてですが、こちらについては今後検討しなければならないと考えておりますが、現時点ではまだ何も決まっていますので、今後、事業の進捗に応じて、その取り扱いも含めて検討されるべきものと考えております。
鈴木委員	最後に、市民の意見を聞きながら、リニューアルする本館と残る丸広の図書館、どういうものが丸広にあり、どういうものが本館にあるかっていうのを、よく考えて、いいものにしてほしいなと思います。
首藤議長	図書館は子ども向け、親子向けの事業等、充実していると思っていますので、小さくならないで、サービスの方も充実してほしいなと思います。
若原委員	23 ページの生涯学習課の事業、この場で協議をするのであればこの情報だとちょっと不足だと思います。スケジュールも大事なのかもしれません、それはその通りやっていただければいいなと思うのですが、前の議題でも質問しましたが、大事なのは、計画があって、特に令和7年度は完成年度ということですので、そこに向けてなぜこの講座をやるのかとか、今、何が課題になっていて、最終年度でこういうことをやるんだとか、そういう事がわかるような形で出すことが必要なのではないかと思います。 そうしないと、会議の議題として上がっているわけですので、いろいろ意見交換したいと思っても、意見の出しようがないなという気がするので、その点、今からではどうにもならないと思いますが、今後、ご検討いただければと思います。
首藤議長	せっかく三つの目標、三つの柱、それぞれありますので、そこに位置づけながら今年やってきて、いいところはもっと広げてもいいし、そうじゃなかったところは改善するような資料を用意するというのも必要かなと思います。 毎年同じようなものが上がってきますので、確かに意見の言いようがない部分があることは確かですね。 そして、何年か前にも意見が出ましたが、二十歳の集いや、市民団体の割と大きな発表会等、そういう生涯学習課が関係しているようなものの日程を、メールで委員に回してもらえば、交通費は出ませんが、どういうことを

	しているのか見てみたいという、そういうことはできるのかなと思います。 どういう活動が行われているのか、よくわからない部分がありますから、日時、場所等の情報だけは私達に欲しいなと思っています。 また、二十歳の集いは、社会教育委員は全員呼んでもいいのではと思います。議長だけは声がかかりますが、委員は見た方がいいのではと思います。ですからそういう案内を、形式的なものでなくても構いませんので、後ろの方で様子を見るってことだけでも構いませんから、呼んでいただけると嬉しいなと思います。
須賀委員	23 ページの市民音楽祭ですが、11 月 9 日は上尾市の産業祭で、11 月は非常に煩雑なスケジュールの中、難しいかと思うのですが、産業祭にいらっしゃる市民の方々がこの 11 月 9 日の日曜日の方になると、結構な人数がどっと文化センターに移動するんですよね。何か産業祭の方はちょっと少なくなっちゃったなって、そこまでは感じないかもしれないんですけど、毎年のことなので、産業祭に出展されてる方もうまく調整はしていらっしゃるんでしょうが、同じ市のことなので、何か調整できれば良いなと考えます。次年度は難しいと思いますが、今後、考えていっていただけるとありがたいなと思います。
生涯学習課副主幹	実行委員会で、ある程度日程や内容を決めていきますので、実行委員会の中でそういうご意見があったことについてお伝えしたいと思います。
須賀委員	関わってる人間が同じなのでなかなか難しいと思いますが。ありがとうございます。
首藤議長	いろいろとご意見をいただきましたが、特に反対や修正のご意見はなかったと私は認識しておりますが、皆さんそのご理解でよろしいでしょうか。
各委員	異議なし
首藤議長	ありがとうございます。 それでは、議案「(2) 令和 7 年度社会教育関係事業(予定)について」につきましては、当会議として概ね妥当との意見とさせていただきたいと思います。 事務局におかれましては、今回出ました意見も参考に令和 7 年度社会教育関連事業について進めていただきたいと思います。
首藤議長	(3) 令和 7 年度社会教育関係団体補助金交付予定について 次に「(3) 令和 7 年度社会教育関係団体補助金交付予定について」、事務局の説明をお願いします。
生涯学習課副主幹	＜令和 7 年度社会教育関係団体補助金交付予定について説明＞ ただいま、事務局からの説明がおわりました。委員の皆様、ご意見若しくはご質問等ありましたらお願いします。
桑原委員	25 ページ一番下の「市内幼稚園保護者会等に」というところ、この「等」

	に何が含まれるのか教えてください。
生涯学習課副主幹 首藤議長	まず平方幼稚園、あとは認定こども園が含まれます。 上尾市の小・中学校のPTAの組織率って今、どれぐらいですか。
酒井委員	今年度は市内 33 校中 31 校です 2 校が令和 6 年度に抜けたのですが、ここに関しては、PTAではなくな ってしまった学校になります。 保護者会に移行したところと、PTAとしてではない、鴨川小学校なので すが「かもまるサポーター」という、保護者会のような団体に移行するとい うことで、今年度は 2 校抜けて 31 校になっています。
首藤議長	そういうPTAという名前をつけない、サポーター等の団体であっても、 PTA関連の団体として連合会が考えているのか、それともそこから完全に 出てしまうのでしょうか。
酒井委員	今の規約上だと、会費が発生してしまうんです。そうすると、2校とも会 費を集めない団体に移行しているので、会費が払えないので抜けるというよ うな形をとられております。 ただ今後、会費集めなくてもいいような形を目指していこうというところ で、そうなったときには、会費という負担はなくなるので戻ってきやすいの かなと思います。
若原委員	この情報だけでは議論しようがない気がします。なぜこの金額やっている のかっていう根拠がわからないので、どう議論していいかわからないとい うところがあると思います。その点ちょっとまたご検討いただきたいなとい う。 例えば今の議論でも、PTA連合会も状況は変わっているようですので、 その変わっている状況を踏まえて、どうしてこの金額になるのかという説明 が必要だと思いますし、例年通りでこの金額になっているとしても、それ でいいのかどうかということで検討する必要があると思います。なぜこの金 額になるのかとか、この間の使用状況だとか、どういう目的で使用されるの かとか、そういったことがわかる資料をあわせて出していただきたいと思 います。 これも今からでは難しいと思いますので、今後ご検討いただければと思 います。
首藤議長	もう何年も委員をやっている私からして申し訳ないですけど、いつも同じ ようなところに同じような額がついていますから、今年もこれでいいです ねと思ってきたんですけども、確かに予算が関係しますから、根拠となる情 報も欲しいし、できれば、どんな活動したのか簡単にでも知りたいなと思 います。その資料を付けるとなると、事務局の負担もかなり大きくなります のでちょっと遠慮していたんですけども、でもやはり、どんなことをやっ てきたのか、やっている団体なのかっていうのは、もう少しわかるといいと思 います。

教育総務部長	補助するかどうかの審議ということになりますと、実際に各団体からその申請が上がってきて、どういうものに使うかという明細がないと、今の段階はあくまでも、こういう事業を過去にやっていたということで、予算として上げています。過去にこういう団体に出していますというところなので、今、委員さんおっしゃったように、この状態で補助金に補助していいかどうかという議論のタイミングではないような気がします、実際にはこういった補助金を団体に出していて、7年度も予算で計上しています。 ただ、実際に補助金を出す出さないの議論については、各団体から申請が上がって、こういうものに使えますっていうものが出て初めて適正かどうかということが議論できると思うので、その辺の出し方っていうのは、今後、事務局の方としてもしっかりと検討していきたいと思います。
首藤議長	この時点ではまだ予算も決まってない段階、ただこういう団体も例年通りってことで申請書を書いているような気もしますので、予算申請を依頼するときにちゃんと今年度の活動内容を踏まえて、次年度はどうしたいと明確になるように作成してほしいと、そういう文言あるのでしょうか、その辺もう少し伝わるようにやってくれたらいいのかなと思います。 例えばこの文化団体連合補助金 75 万円とありますけれども、これは例えば今年度 40 万円で作ってくれと言われたら困りますよね。
清水(カ)委員	そうですね、困ります。これでも自己負担もしてますから。
首藤議長	そうですね 75 万円くるってことを想定して活動計画してますよね。
清水(カ)委員	今は団体数が少ないので、少し助かってると言ったら失礼なんですけど、でも一生懸命増やしましょうという努力はしています。年会費が1万円なんですけど、会に入ってくれるかなと思っていて、その年会費の1万円を会員の方たちが出すことができないってということで、ダメになってしまうことがあるのです。
近藤副議長	今、ご意見の一部に出ていましたが、どんな内容の団体か、どんな事業をやっているかということが事業報告書を出していただければわかるかと思います。 決算の数字までは言わないけれども、こういうことに使いましたということぐらいは出てくれば、多分一つの目安になるだろうとは思いますが。ただ僕の知ってる限りで言えば、各団体とも自分たちで持ち出しもしていることは事実みたいです。いろいろところで話を聞くと、今お話出ていましたけども、それぞれの団体で会費集めたり、いろいろ工夫しながらやっていると推測しますけれども、ご意見もごもっともだと思うんですね。 漠然と金額を決めましたって、今までは大変申し訳ないんですけど、毎年やってることで、職員の方々も一生懸命努力をしてこの金額を何とか確保してくれたんだと感謝はしてますけどもね。 だからそういうふうに言われてみればごもっともということだと思います。できればそういう方向に行ければ、よりいいかなと思います。
首藤議長	ぜひ今年度と同じぐらいの額を確保できますことを期待しております。 私も県の教育委員に関わっていますが、どうしても社会教育、生涯学習と

	いうのは立場が弱いんですよね。何か予算を削らなければならないとなるとまずそこからって。学校教育が強いですから。 上尾市は違うかもしれませんが、社会教育、生涯学習はどうしても弱いんです。でもここ数年、額が減らずにきてますから。ですから、事務局のご努力は大きいのかなと思います。ぜひ引き続きよろしくお願いします。 では様々ご意見いただきましたが、特にこの案で反対とか修正のご意見はなかったと認識しております。 要望はたくさん出ましたが、それは次年度に向けて、参考意見にさせていただきたいと思います。皆さん私の認識と同じでよろしいでしょうか。
各委員	意義なし
首藤議長	ありがとうございます。 それでは、議案「(3) 令和7年度社会教育関係団体補助金交付予定について」につきましては、当会議として概ね妥当との意見とさせていただきたいと思います。 令和7年度の補助金交付につきまして、適切に執行していただきたいと思っています。
首藤議長	(4) 第6次生涯学習振興基本計画の計画策定について 次に「(4) 第6次生涯学習振興基本計画の計画策定について」、事務局の説明をお願いします。
生涯学習課副主幹 首藤議長	＜第6次生涯学習振興基本計画の計画策定について説明＞ ただいま事務局から説明がありました「第6次生涯学習振興基本計画の計画策定について」、第5次は今皆さんのお手元にある資料により、いわゆる三つの基本目標でそれぞれに三つの策の柱がある、そういうことをきちんと図式化して文章にしたのが第5次の案ですが、その第6次計画を作っていく、その作業が来年加わるということで会議が4回になるという説明でした。 委員の皆様、ご意見若しくはご質問等ございますか。
若原委員	計画策定の最初にある第5次計画の評価反省の第2回会議は今回ですか。
生涯学習課副主幹	評価・反省のところはこの後やっていきますので、資料は1行ずつくらいずらして作るつもりだったんですけど、すみません。
若原委員	こちらは来年度の第1回会議で行うということでもいいですか。
生涯学習課副主幹 若原委員	はい。 追加で意見です。全体的なことですが、今後進めていく上で、上尾市の社会教育なり生涯学習のことについて、社会教育委員が学習する機会があった方がいいのではないかと思います。 例えば私は他の自治体でもいくつか社会教育委員をやっているのですが、ある自治体だと、会議の冒頭15分ぐらいを学習の時間にして、例えば公民

	館での特徴的な事業について報告してもらって意見交換をしたり、あとは場合によっては時間外でワークショップを行ったこともありました。また先ほど議長さんからお話ありましたが、別の自治体では普段行われている事業に社会教育委員が参加できる機会を作っていて、例えば、私の経験だと、二十歳の集いに、委員全員がボランティアスタッフとして参加し、受付をする等して関わったりとか、それからいくつかの公民館まつりみたいなイベントもスタッフとして関わるのができたり、そんなふうに計画策定と同時に上尾市の社会教育や生涯学習のことを学べる機会を委員会の場で作っていただきたいと思い、検討お願いします。
曾我部委員	確認で、27 ページのスケジュール表の令和 6 年度のあとは令和 7 年 4 月。それで 8 年という繋がりでもいいですか。
生涯学習課副主幹	4 月の頭に令和 7 年度というのを入れるべきだったと思います。大変申し訳ありません。
首藤議長	これちょっと厄介なのが、上尾市の第 6 次生涯学習振興基本計画と上尾市教育振興基本計画も変わるわけですね。同時にそれが変わっていく。 うまく、途中で調整しながら、進めなきゃいけない。 なかなかこちらの思惑通りには進めないと思います。そういう要素があるということが少し気になっています。 上尾市の社会教育も含めて、教育委員会系のいろいろな事業を自己点検チェックする報告書みたいな、毎年多分あるんだと思うんですけども、各事業で達成何%いったとか、それについて専門家がこういうアドバイスをしたとか、そういったものっていうのが、毎年作られていますよね。
教育総務部次長	法律で求められておりますので、毎年、生涯学習も含めて行っております。
首藤議長	社会教育委員会議と関わっている事業に対して、どういう評価を、自己点検、自己評価で行っていて、専門家からどのような意見が来てるのか、少し知りたい面もありますので、それは令和 7 年度の 1 回目の会議で報告してもらえますか。
教育総務部次長	既に令和 5 年の評価は出ていまして、5 年度の事業の評価と政策の評価というのを議会の方で報告しておりますので、次回、1 回目の会議ではそういったものを報告したいと思います。
桑原委員	質問です。先ほどお話のあった第 5 次生涯学習振興基本計画の評価・反省の作成が始まっているということですが、第 1 回会議で報告ということでしたが、第 5 次が終わるのが令和 8 年 3 月 31 日で、評価と反省は第 1 回会議で発表されて令和 7 年度の評価と反省はしないのか、それとももう少し先の会議で、令和 7 年度に入ってから評価と反省の報告がされるのか、教えてください。
生涯学習課副主幹	第 1 回会議では、現状できている令和 5 年度までのものを報告する予定です。ただ令和 6 年度につきましても、今回の資料が 12 月 31 日までの資料を

	示させていただいているところでありますので、ここまでのところで振り返りを行っていきたいと考えています。
首藤議長	第5次の基本計画の評価はまだ今後やらなければいけなくて、各年度の各事業の評価、令和5年度の評価について次回の会議でお示しいただけるとい うことで、6年度の評価は今まさに作成中だと思うんですね。 多分夏ぐらいに、最終的なものができるかなと思っております。
首藤議長	では皆様からご意見ご質問等ありましたけれども、大体反対とか修正のご 意見はなかったかなと認識しておりますが、その認識で皆さんのご理解、よ ろしいでしょうか。
各委員	異議なし
首藤議長	ありがとうございます。それでは、議案「(4)第6次生涯学習振興基本計 画の計画策定について」につきましては、当会議として概ね妥当との意見と させていただきますと思います。 事務局におかれましては、今回出ました意見も参考に、新しい生涯学習振 興基本計画の案の作成に取り組んでいただきたいと思います。
首藤議長	(5) 報告事項 「ICTを活用した学習相談や学習支援サービスについて」 続きまして報告事項「ICTを活用した学習相談や学習支援サービスについ て」、事務局の説明をお願いします。
生涯学習課副 主幹 首藤議長	＜ICTを活用した学習相談や学習支援サービスについて説明＞ ありがとうございます。さいたま市、草加市は人口規模も、たぶん予算 規模も違いますから、同じようなことは難しいかもしれませんが、狭山市 ができているところは上尾市もできそうな気がします。 委員の皆様、ご意見若しくはご質問等ございますか。
曾我部委員	さやマルシェって言うのがあるんですけど、いわゆるマルシェで、本校を 卒業して上尾中央総合病院の看護師がいるんですけど、そういう人が集まっ て、期間マルシェって言うんですけど、駅前の喫茶店で集まっているんです が、その趣旨が、地産の原料でパン等を作って販売してて、そこに看護師さ んとか、病院の院長とか著名な方が集まって、そこにいろいろな悩みを持っ ている人たちが集ってるんですけどね。畑違いだけど、ちょっと行ってみた んですけど、それで、このマルシェってのはそういうことだったんだと思 ったんですよ。 そしたら上尾市で地産地消のものを経営したり、そこは集まって、そして やるようなね、そういう方いらっしゃったらそれもいろんなメンタル面での ご相談とかいいのかなあと思いました。 年に4回ぐらいやってるのかな。ですから、ぜひ加藤部長、その気になっ ていろいろ調査、研究していただいてですね、ウェルビーイングの学校作り も始まってますから。 ですからぜひ何か情報収集等をされると、いろいろな上尾市独自の発想が 出てくるんじゃないかなと思います。

	ちょっとした発想やアイデアから、市民の方が集まる場を設定する、いわゆる社会教育といえば公民館というような概念がありましたけど、そうじゃなくて、色んな民間の、またいろんなところにあるんじゃないかなと感じましたのでね。 突然だけど、良い資料が出たなと思います。
首藤議長	狭山市規模の自治体であっても、こういった情報発信をできているというところは、何かモデルになるのかなと思います。 いろいろな文化団体がたくさんありますから、それぞれの団体の中で動画やホームページを作るのはなかなか難しい面もありますので、いろいろな人の力を借りながら進めることができたらいいいのかなと思います。 安易な発想ですけど、例えば高校、放送部とか、情報の授業も必修になっていますので、どこか何か作ってくんないかなとかですね。まあ、高校生も忙しいですから、できないかもしれないですけども。でも上尾高校、活躍しましたよね、今回。上尾市には高校が4校ありますので、何かそういう高校生の力も使えたらいいなと思うところであります。
首藤議長	委員の皆様から、ほかに何かご質問等はございますでしょうか。
各委員	特になし
首藤議長	無いようですので、報告は以上とさせていただきます、その他、何かありますでしょうか。
生涯学習課副主幹	特にありません。
首藤議長	以上で予定された議事は終了いたしました。委員の皆様から何かその他発言はございますでしょうか。
各委員	特になし
首藤議長	以上で予定された議事が終了いたしました。 ご協力ありがとうございました。司会を事務局にお返しします。
生涯学習課副主幹	5 閉 会 首藤議長、長時間にわたりまして議事を進行していただきありがとうございました。 では、閉会の御挨拶を近藤副議長からお願いします。
近藤副議長	<副議長 閉会の挨拶> 以上で予定された議事は終了いたしました。 これをもちまして終了とさせていただきます。 (午後3時45分終了)